



1-6 JICA 関西訪問 みなさんの感想

フィジーの話では、違いを受け入れることの大切さを知りました。話の内容から日本ではありえないことがフィジーでは普通だったりしていて、異文化ってすごいと思いました。ケレケレでお互いに助け合うのもみんながやさしいからできることだと思いました。

今日海外の文化を初めて知って“認めていくことが大切だ”と思いました。フィジーの国の文化は驚くべきことばかりでした。日本ではありえないことがフィジーでは当たり前だと考えると、世界はとても広いなと思いました。その中で文化の違いというものを認め、受け入れていくことが、私たちができる小さな力なのだと思います。

異文化を受け入れるのは、海外に自分が行ったらしなければならないことだとわかっているけど、簡単なことではないし、勇気のいることだと思いました。自分たちがしないことを目の敵にするのではなく、受け入れることが大切だと知りました。

今回学んだことは、お互いの文化を尊重することが大切だということです。これは自分たちも言えることだと思いました。今回の話を聞いてもっと国際に興味も持つことができたし、たくさん学ぶこともできました。

一番印象に残っているのは、林さんが「自分の目で見て伝える」ためにフィジーに行った、とおっしゃっていたことです。私もボランティアに行きたいと思っていて、その気持ちがより大きくなりました。

私は「ものを与えるだけでは問題解決にならない」という言葉がとても印象に残りました。実際に現地に行くことがその国について知る、一番の近道だと思います。

どの国にも違った文化があり、どれもすばらしいなと思いました。全員がそれぞれの違いを認め合っていかなければならないと思います。そして全員で互いに助けあっていくことが、今の世界の課題だと思います。

相手を否定せず受け入れることが、異文化を知ることなのだと思う。今回の活動を通じて、海外に行ってみたいという感情が強くなった。

「異文化」というのは時に「いやだな」と感じさせることがあります。日本ではありえないことが他の国では当たり前のため「いやだ」と思ってしまうのです。しかしそれが「おもしろい」と思うことが、これからの国際的な活動をする上で大切なのだと感じました。

何かを支援するときはその人にとって一番必要なものが何かをよく考えて行う必要があることを強く感じました。JICA のモットーは信頼で世界をつなぐ、というもので、これは私たちもボランティアだけに限らずやっていかなければならないと思いました。

異文化は怖いところもあれば、気の向かないこと、おもしろいこと、いろいろあると思いますが、すべて含めて知って、身体で感じることはさらに楽しいだろうなと思って聞いていました。また、お金がすべてではない、笑うことが大切だと伝えてくれたフィジーの民族はすばらしいです。